

論文審査の要旨
(Summary of Dissertation Review)

博士の専攻分野の名称 (Degree)	博士 (マネジメント)	氏名 (Author)	谷光 透
学位授与の要件	学位規則第4条第1項該当		
論文題目 (Title) J I C P Aモデル会計基準への統合を見据えた病院及び社会福祉法人会計の再構築			
論文審査担当者 (Dissertation Committee)			
主査 (Committee chair)	講師	金 幸煜	
審査委員 (Committee member)	特任教授	日野 修造	
審査委員 (Committee member)	准教授	秋山 高志	
〔論文審査の要旨〕 (Summary of Dissertation Review)			
1. 概要 本研究の目的は、非営利組織、特に病院と社会福祉法人の会計基準統合を背景に、その課題を分析し、新たな会計基準の構築を検討するものである。非営利組織の会計基準の統一に関する長年の議論を踏まえ、特に医療福祉サービスの提供において営利組織や公的組織との重複が見られることから、財務報告の形式をどのように定めるかが重要な課題となっている。本研究では、文献調査を軸に、制度や規範を分析し、日本の病院や社会福祉法人の会計における開示方法についてモデル会計基準を用いて検討を行い、解決策を提案している。本研究は、会計基準の再構築に向けた知見を提供することは無論、実務における財務報告の改善にも寄与することが期待できる。			
2. 論文の構成 本論文は、第I部から第III部で構成されている。 第I部では、モデル会計基準に病院及び社会福祉法人会計を統合するための方法を提案するために、その特徴や課題を検討している。第1章では、まず、関連先行研究をレビューし、本研究の課題を明確にしている。 第2章、3章では、我が国における非営利組織、特に病院及び社会福祉法人の特徴と病院会計準則、医療法人会計基準及び社会福祉法人会計基準の特徴を議論している。 第4章、5章、6章では、統一会計モデルの検討を踏まえて、純資産区分の検討、活動計算書の拘束別区分表示の検討などをおこなっている。 第II部では、モデル会計基準に病院及び社会福祉法人会計を統合するための方法と財務報告手法の提示を視野に、米国の病院会計の統一化までの経緯を検討している。 第7章、第8章では、米国の病院会計と歴史的、社会的背景の関係を検討している。 第9章、第10章では、米国非営利組織会計の勘定体系、概念、基準にかかわる基礎的会計思考			

について議論している。

第Ⅲ部では、第Ⅱ部で得た示唆を踏まえ、第Ⅰ部で明らかになった検討結果を反映したモデル会計基準に、病院及び社会福祉法人会計を統合するための解決方法と財務報告手法の提案について議論をまとめている。

その中、第 11 章では、モデル会計基準における課題と展望を中心に検討し、終章において、本研究の論点のまとめと、非営利組織会計統一化における病院及び社会福祉法人会計のあり方を提示している。

3. 論文に対する評価

本研究は、非営利組織における情報開示に伴う負担の軽減や、大規模な保険・医療・福祉複合体が連結財務諸表で如何に情報開示を行うべきか、などに関する課題はあるものの、以下の学術的、実務的意義より評価できる。

本研究は、社会的変化による既存会計基準の問題点を踏まえた上、文献分析を中心に、米国の会計基準の歴史的社会的経緯の考察などから、モデル会計基準において我が国の病院及び社会福祉法人会計を如何に開示すべきかについて検討し、その結果として次に関する解決方法を示している。①病院及び社会福祉法人会計の再構築方法の試案、②モデル会計基準の在り方、③セグメント情報及び注記による開示。本研究の成果は、今後おこなわれるモデル会計基準統一にむけた課題や在り方を示すことで、生じうる実務上の問題の解決に向けた、その方向性を提供するものとして大いに評価できる。また、今後の関連領域研究で、従来の議論の再構築と新しい観点からの議論を促すものとしても十分に期待できる。

以上、審査の結果、本論文の著者、谷光 透氏は博士（マネジメント）の学位を授与される十分な資格があるものと認められる。

備考 要旨は、1,500 字以内とする。

試験の結果の要旨
(Summary of Comprehensive Examination)

報告番号	広大 第 号	氏名 (Author)	谷光 透
試験担当者	(Comprehensive Examination Committee)		
主査	(Committee chair)	講師	金 宰煜
審査委員	(Committee member)	特任教授	日野 修造
審査委員	(Committee member)	准教授	秋山 高志
試験の結果の要旨 (Summary of Examination Results)			
<p>申請者 谷光 透氏に対し、2024年8月5日、論文の内容及び関連事項に関する本人の学識等について、試験を行った。</p> <p>試験はオンライン形式で行い、審査委員3名により、論文の内容及び関連事項に関する本人の学識等について最終試験を行った。まず、冒頭に40分をかけて申請者からの研究全体の概要の説明が行われ、その後、審査委員から下記の項目などについて説明を求めて、申請者からは的確な回答が得られた。</p> <p>質問</p> <ul style="list-style-type: none">本研究の理論的背景とリサーチクエスチョンについて先行研究と関連領域における本研究の位置付けと研究意義について病院及び社会福祉法人会計におけるセグメント情報開示と連結財務諸表の情報開示について米国と日本、両国の病院及び社会福祉法人の歴史的形成過程及び位置付けの違いと会計基準統一との関係について非営利組織における情報開示の問題と経営上の負担について本研究の学術的、実務的意義について <p>以上の結果、本人は学位を受けるに必要な学識を有するものと認め、試験担当者は一致して最終試験に合格と判定した。</p>			

備考 要旨は、400字程度とし、試験の方法も記載すること。